

決算説明会

株式会社アルプス技研

2015年12月期

— 東京証券取引所市場第一部 証券コード：4641 —

正社員の技術者派遣会社です

説明のポイント

【2015年度 通期決算概況】

P3～P9

創業以来最高業績、配当を達成

チームアルプスで実現する P10～P12
攻めの「採用」「教育」「営業」

【2016年度 通期施策・業績予想】

P13～P16

さらなる高成長、高配当を予想

【中期経営計画】

P17～P18

イノベーションによる企業規模の拡大

■2015年度 決算概況

各施策が奏功し、最高業績を達成

(単位：百万円)

【連結】	2014年12月期	2015年12月期	増減率
売上高	20,169	22,723	12.7%
営業利益	1,626	2,165	33.2%
経常利益	1,617	2,223	37.5%
当期純利益	1,260	1,446	14.8%

(単位：百万円)

【個別】	2014年12月期	2015年12月期	増減率
売上高	17,503	20,076	14.7%
営業利益	1,576	1,993	26.4%
経常利益	1,647	2,087	26.7%
当期純利益	1,034	1,355	31.0%

- 外部環境は自動車中心に好調
- 人材獲得競争は激化

製造業界

輸出動向

弱含むも
持ち直し期待

自動車業界動向

海外生産が牽引

人材業界

派遣要請

強い要請
高稼働率

人材獲得競争

引き続き激しい

利益率がさらに向上

(単位：百万円)

【連結】	2014年 12月期	2015年 12月期	増減率
売上高	20,169	22,723	12.7%
売上原価	15,075	16,957	12.5%
売上総利益	5,093	5,766	13.2%
販管費	3,467	3,600	3.8%
○売上高販管費率	17.2%	15.8%	-1.3%
営業利益	1,626	2,165	33.2%
○売上高営業利益率	8.1%	9.5%	1.5%
営業外収益	118	75	-35.8%
営業外費用	126	17	-85.9%
経常利益	1,617	2,223	37.5%
特別利益	268	16	-93.9%
特別損失	10	5	-49.6%
税引前当期純利益	1,875	2,234	19.2%
当期純利益	1,260	1,446	14.8%
○売上高当期純利益率	6.2%	6.4%	0.1%

利益率向上要因

- 売上高営業利益率
- 売上高当期純利益率

①単価上昇

P.6へ

②技術者数増

P.6へ

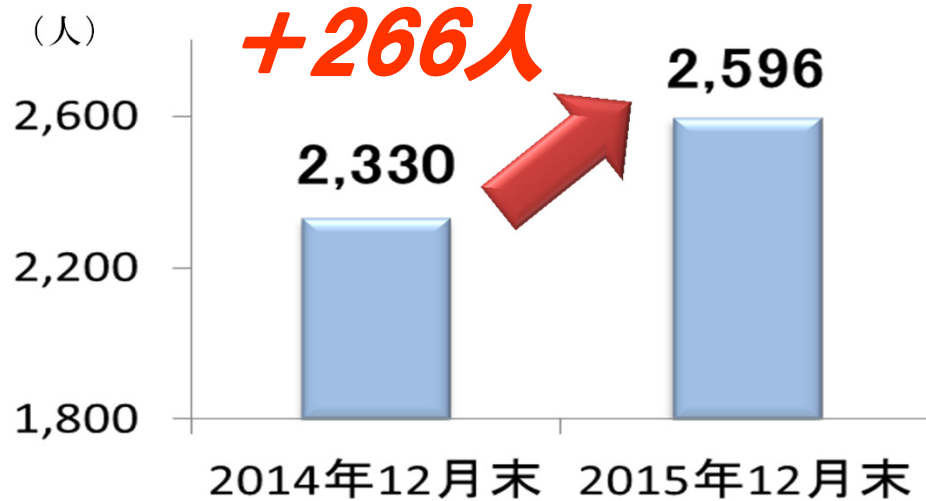
③稼働率上昇

P.7へ

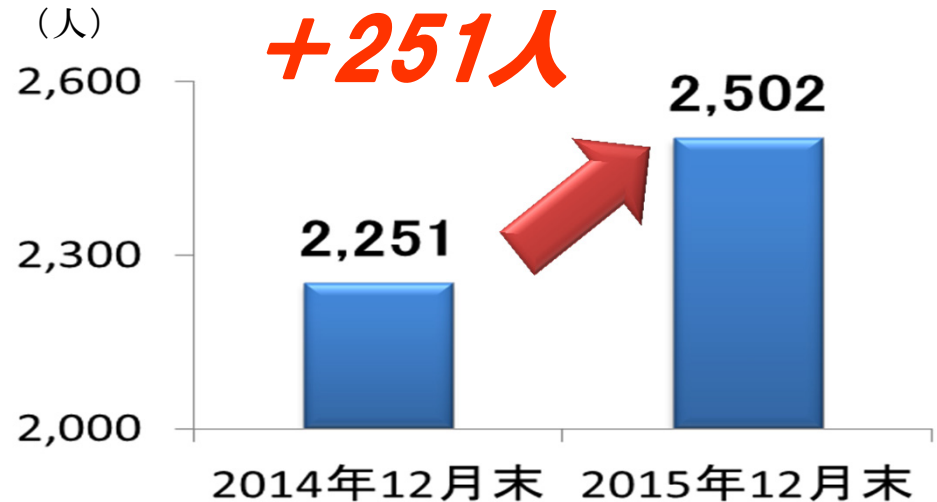
④販管費率改善

主要指標は着実に向上

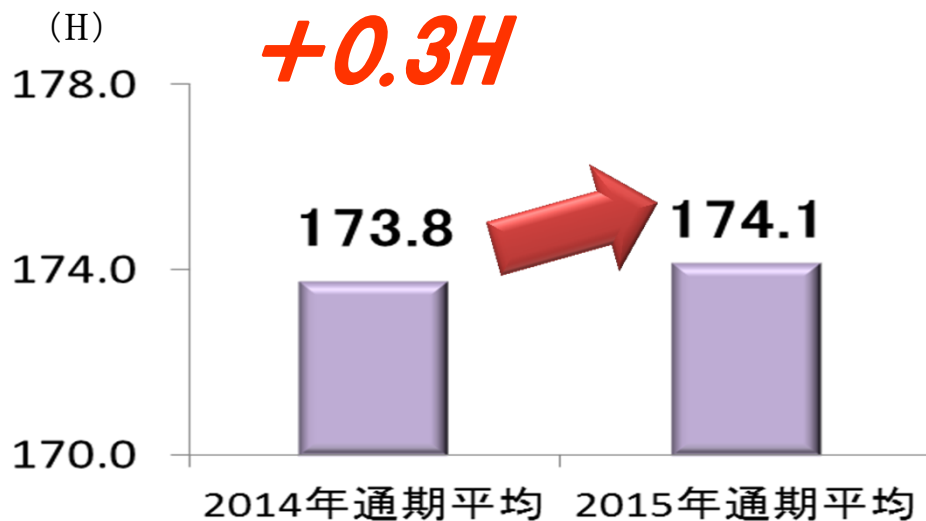
技術社員数 ※2015年12月末時点



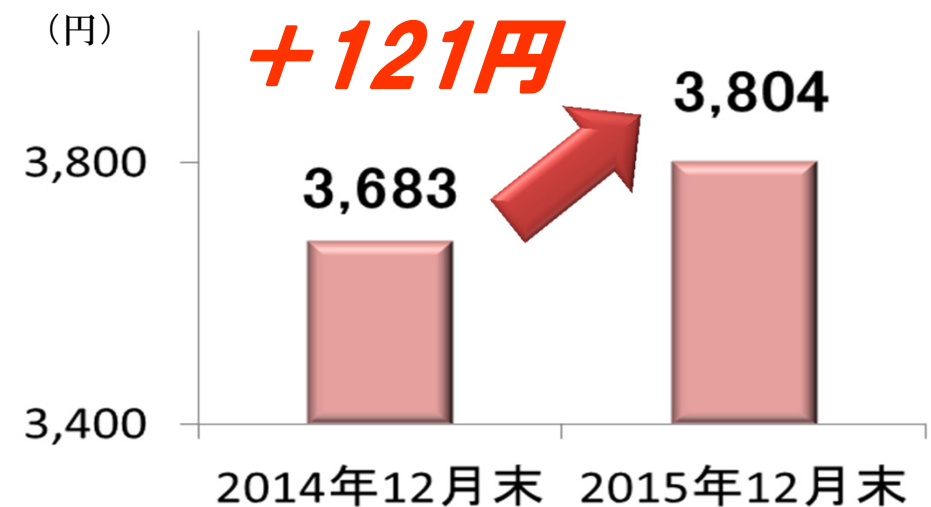
稼働人数 ※2015年12月末時点



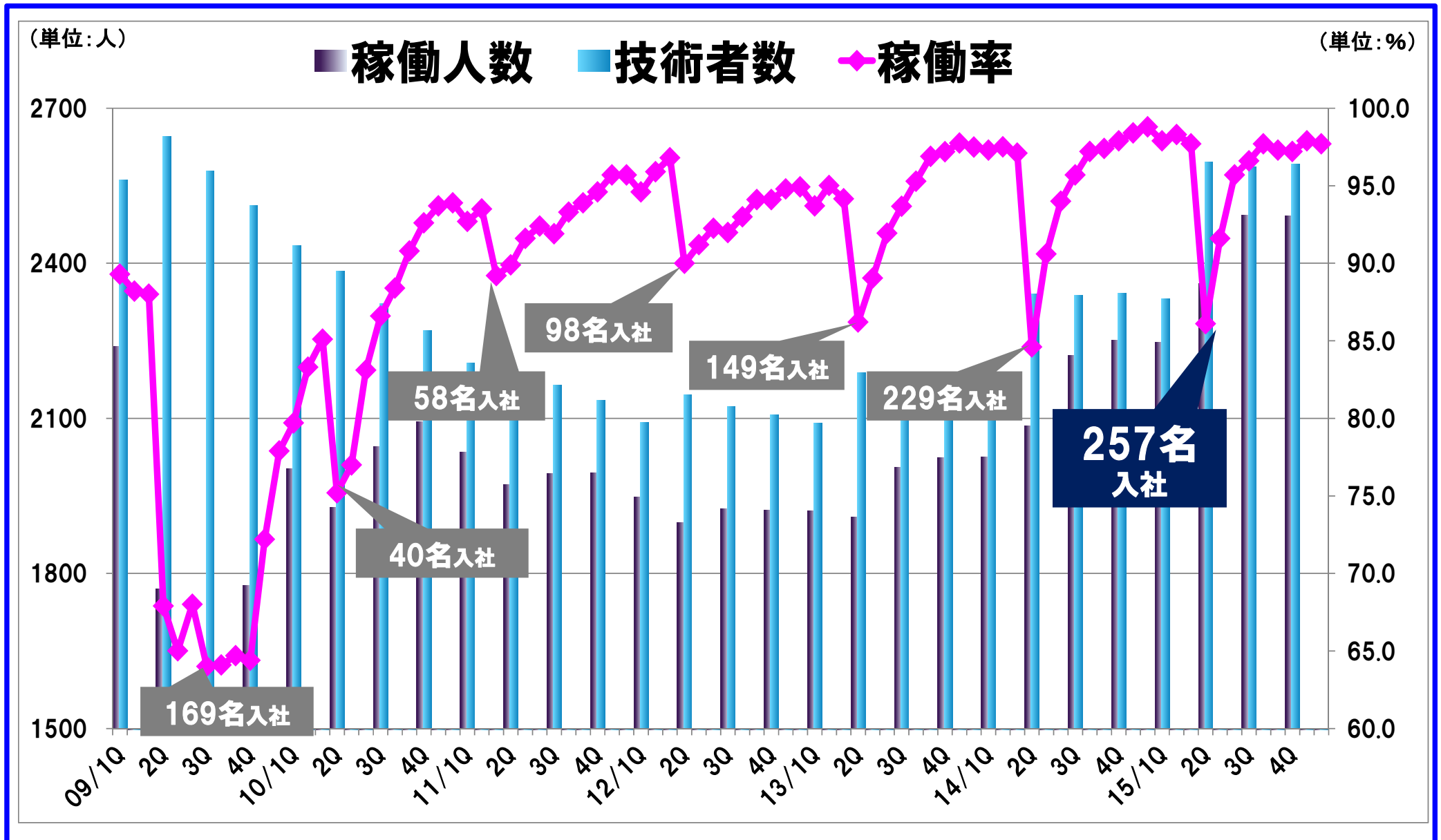
稼働工数 ※2015年度 通期平均



契約単価 ※2015年12月末時点



2015年新卒の早期稼働が進展



※①「稼働人数」…四半期毎の稼働人数(人) ②「技術者数」…四半期毎の技術者総数(人) ③「稼働率」…月当たりの新卒を含む全社稼働率(%)

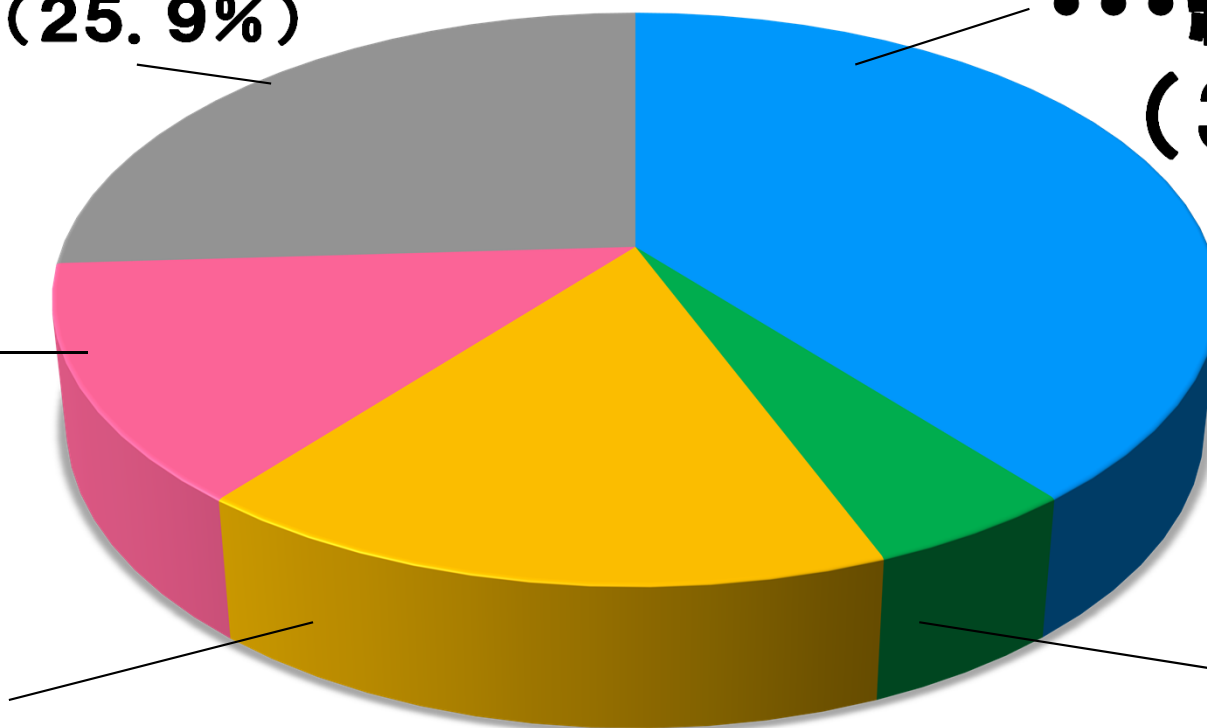
- 自動車関連の要請は引き続き好調
- 環境・医療関連の新規開拓進む

業種別売上高 (2015年度 通期)

その他(工作機械、ソフト開発、
太陽光、医療系、航空宇宙等)
…約52億円 (25.9%)

半導体関連
…約27億円
(13.4%)

精密機器関連
…約33億円
(16.6%)



自動車関連
…約78億円
(39.2%)

電機関連
…約10億円
(4.9%)

- ・ 特定企業に依存しない顧客構成
- ・ 時流に合わせ好調企業にシフト

売上上位10社

2013年度 通期	2014年度 通期	2015年度 通期
デンソーテクノ	デンソーテクノ	デンソーテクノ
キヤノン	キヤノン	東芝
東芝	東芝	キヤノン
日産自動車	日立オートモティブシステムズ	三菱電機
日立オートモティブシステムズ	日野自動車	日野自動車
日野自動車	三菱電機	ソニーセミコンダクタ
パナソニック	日産自動車	ソニーLSIデザイン
ケーヒン	アイシン精機	日立オートモティブシステムズ
三菱重工業	日立アプライアンス	日立アプライアンス
アイシン精機	三菱重工業	アイシン精機
上位10社比率 26.4%	上位10社比率 25.0%	上位10社比率 23.4%



■新体制が掲げるビジョン

～チームアルプスの取組み～



経営理念: Heart to Heart

『アルプスブランドの確立』

アルプスブランド

製造業における人材の
あらゆるニーズへ対応

確実に成果を上げる優秀な
人材の提供

信頼と実績による
『選ばれる技術者派遣会社』

新たな価値を生み出す
ソリューションの提供

2016年度 攻めの施策 (個別)

達成目標

1. 攻めの採用

- ① 全社協力採用体制の定着
- ② 多様なチャネルのキャリア採用
- ③ グローバルエンジニア積極採用

- ・ 新卒250名採用
※2017年入社目標
- ・ キャリア120名採用
※2016年入社目標

2. 攻めの教育

- ① 段階的且つ体系的な研修の実施
- ② 資格取得の推進
- ③ マネジメント系能力開発体系確立

- ・ 技術トレンドに則した
キャリア形成
- ・ 資格取得 合格率UP
- ・ チームリーダー育成

3. 攻めの営業

- ① さらなる新卒早期稼働の進展
- ② キャリアターゲットローテーションの促進
- ③ チーム化推進による顧客の選択と集中

- ・ 7月末全員稼働決定
- ・ 優良チームの増加
- ・ 実単価4千円視野

■2016年度 通期施策 (グループ)

ブランドを確立し
企業規模の拡大へ

グループ成長を加速し
グローバル企業グループへ

国内事業

アルプスビジネスサービス

企業体力の強化

アルプスキャリアデザイン

黒字経営の実現

チ
ー
ム
ア
ル
プ
ス

海外事業

台湾・上海・ミャンマー

事業規模拡大
アジアネットワーク展開

日本国内のグローバル人材受入

グローバルエンジニア
採用拡大

■ 連結業績予想

増収・増益

さらなる高成長の実現へ

(単位：百万円)

【連結】	実績		業績予想			
	2015年度通期		2016年度上期		2016年度通期	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	22,723	12.7%	12,250	11.8%	24,900	9.6%
営業利益	2,165	33.2%	1,050	13.4%	2,350	8.5%
経常利益	2,223	37.5%	1,070	12.4%	2,400	8.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,446	14.8%	700	17.4%	1,560	7.9%

■ 個別業績予想

増収・増益

攻めの施策で好業績の達成へ

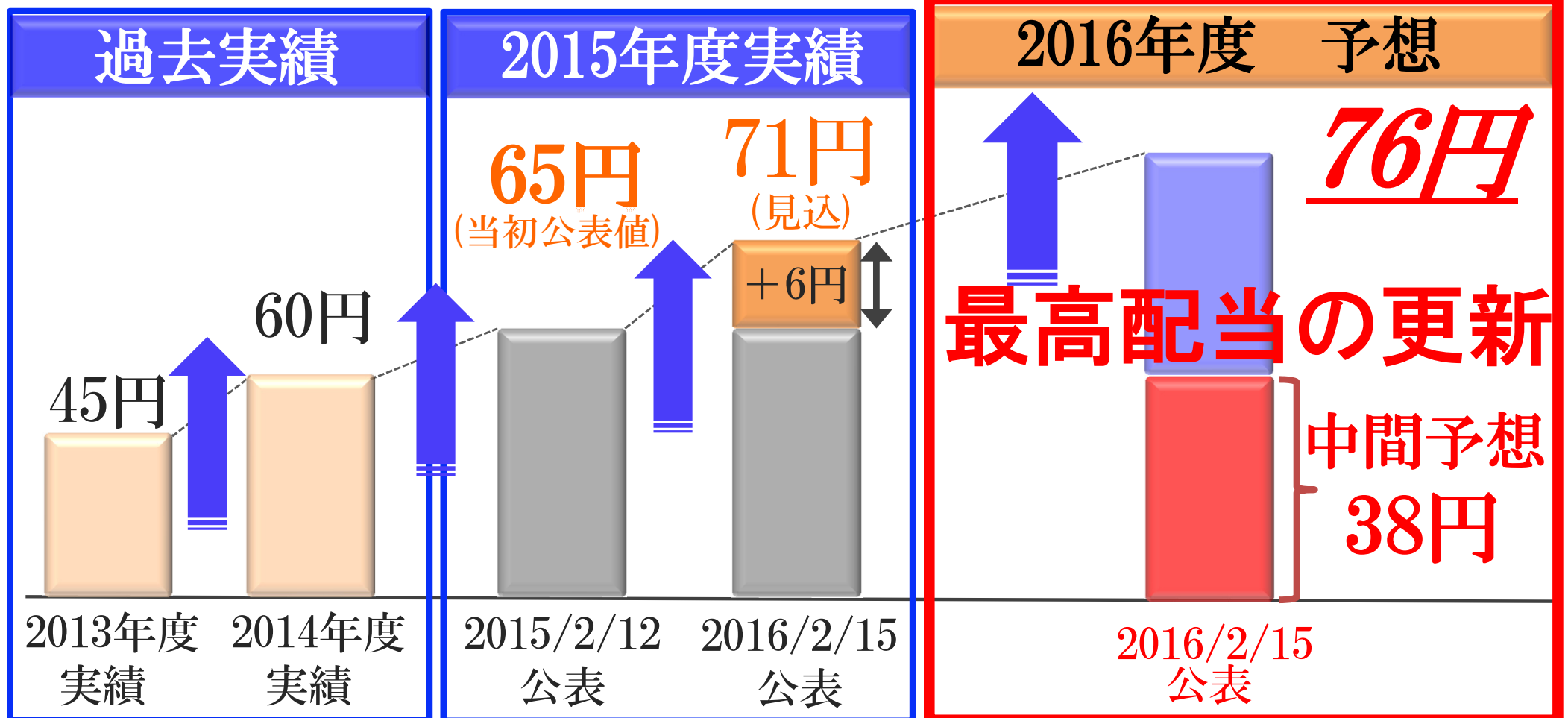
(単位：百万円)

【個別】	実績		業績予想			
	2015年度通期		2016年度上期		2016年度通期	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	20,076	14.7%	10,500	8.9%	21,750	8.3%
営業利益	1,993	26.4%	950	12.6%	2,150	7.9%
経常利益	2,087	26.7%	1,000	11.0%	2,200	5.4%
当期純利益	1,355	31.0%	640	12.5%	1,430	5.5%

■ 配当予想 (2016年度年間配当金)

【配当の基本方針】

- 連結ベースでの配当性向50%を基本とする
- 中間配当金は年間配当金の50%を目処とする
- 業績にかかわらず年間配当20円を維持する (安定配当の見地)

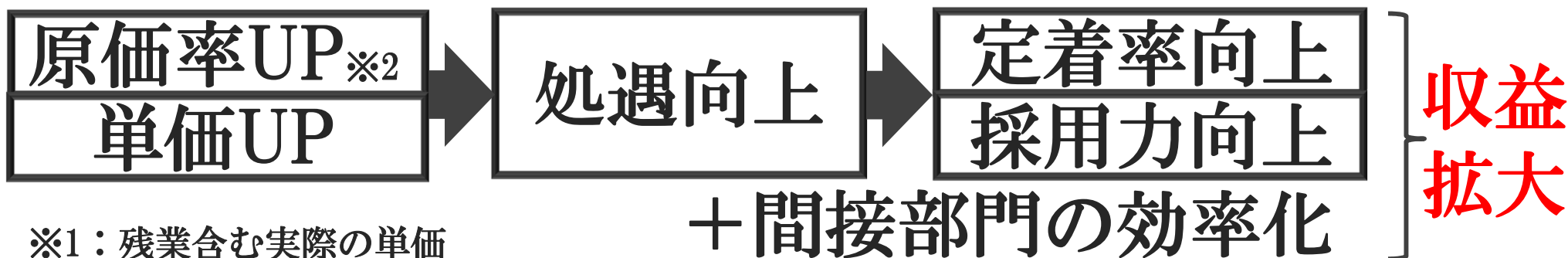


【備考】2013年度実績・・・創業45周年記念配15円を含む。

■ 個別目標

- ① 営業利益率 10%以上を達成
- ② 平均実単価 (※1) 4千円以上を達成

	2014年度	個別目標
売上高原価率	73.3%	75.0%
売上高販管費率	17.7%	15.0%
売上高営業利益率	9.0%	10.0%



※1：残業含む実際の単価

※2：高稼働率を前提とした原価率UP

■ 中期経営計画 (連結)

第10次5カ年計画 (2018年までにありたい姿)

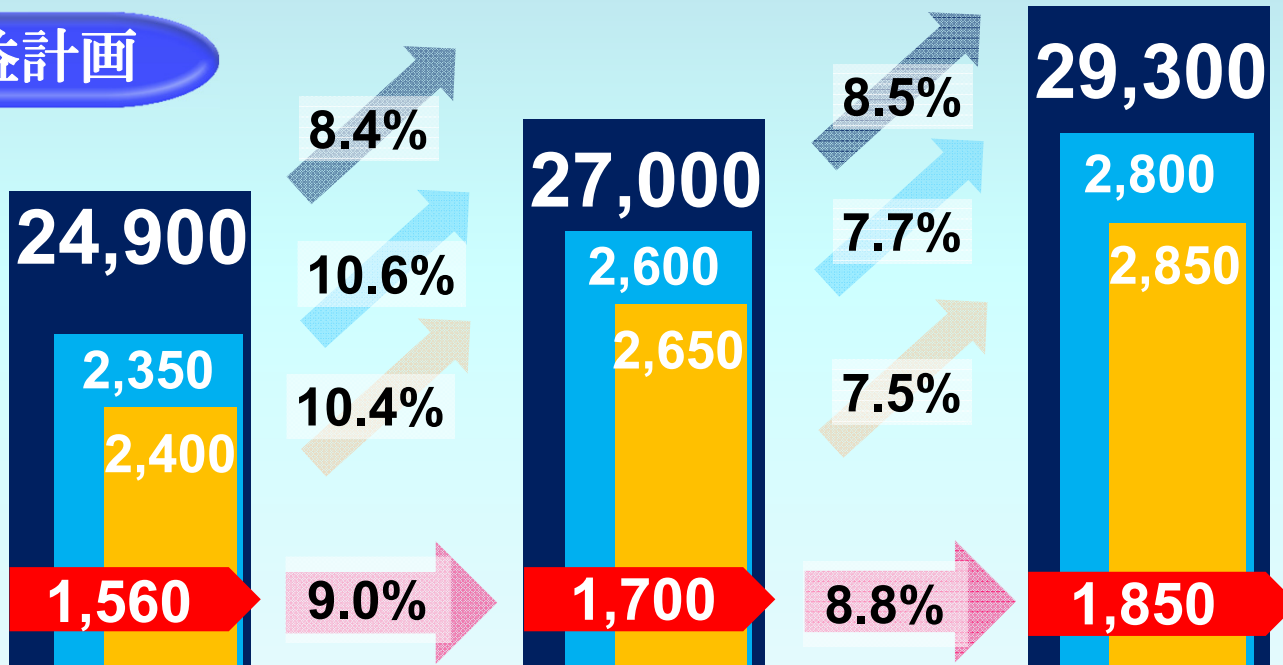
イノベーションによる企業規模の拡大
 ~創業50周年に向けた成長の加速~

3カ年毎のローリングプランを策定⇒持続的なイノベーション

売上高・利益計画

(単位:百万円)

- ...売上高
- ...営業利益
- ...経常利益
- ...親会社株主に帰属する当期純利益



■ 中期経営計画 (連結)

各施策と主な内容

1

技術、産業の
変化を先取りし、
高度で多様な
技術サービスを
提供

■内容

- ①営業・採用・教育の
仕組みの変革
- ②チーム化・請負化の推進
- ③顧客満足度の向上
- ④高度技術者集団としての
ブランド確立

2

関係会社の自立、
成長により、
当社グループの
規模拡大を加速

■内容

- ①関係会社の独自性と
収益性の発揮
- ②潮流を捉えた新規事業
の創出
- ③グループ拡大による
社会貢献への寄与

3

アジアに展開
するグローバル
企業グループへ
の躍進

■内容

- ①事業基盤強化と
事業分野の拡大
- ②東南アジアにおける
ネットワーク活用
- ③グローバルな
アウトソーシング
サービスの提供

アルプス技研は、引き続き積極的に 株主還元の実現を図ってまいります。

【免責事項】

本資料に記載されている業績予想、将来予測等は、作成時点において入手可能な情報に基づく見通しであり、潜在的风险や不確実性が内在しています。実際の業績は、経営環境や様々な要因の変化によって記述内容と大きく異なる可能性があります。

人が未来—Next Technology Frontier®

 Alps 株式会社アルプス技研